

2019年度 秋田公立美術大学ギャラリーBIYONG POINT（ビヨンポイント）企画公募 募集要項

「**展覧会企画募集!**」～秋田で行う**展覧会のアイデアを募集します!**～

秋田公立美術大学ギャラリーBIYONG POINT（ビヨンポイント）は、大学が運営するギャラリーとして、実験的な展覧会やプロジェクトの企画を進めるとともに、秋田の方々がより芸術に親しむ機会としてエデュケーション・プログラムを実践します。

今回の企画公募では、本ギャラリーの特性を捉えた、**新たな芸術領域の創造を試みる実験的な展覧会企画**を募集します。

【応募について】

2019年度にBIYONG POINTで行う展覧会の企画を募集します。

<応募条件>

- 本ギャラリーを会場及び起点として行う取り組みであれば、ジャンルは問いません。
- 採用された際には責任を持って、提案内容を遂行すること
- 会期中に、トークイベントやワークショップ・パフォーマンスなど、展覧会を説明する関連企画を行うこと
- 書類審査を通過した際には、3月16日～20日（いずれかの日程）に実施する公開プレゼン審査会に参加すること（秋田公立美術大学にて開催予定。※旅費・交通費は自己負担。）

<応募資格>

- 個人またはグループ
- 年齢・国籍・居住地は問いません（但し、アーツセンターあきたとの連絡が円滑にとれること）

<展覧会実施期間> ※下記より希望を選択して計画

- ① 2019年6月1日（土）～ 8月12日（月祝）
- ② 2019年8月24日（土）～ 10月20日（日）
- ③ 2020年1月18日（土）～ 3月15日（日）

<提出書類>

- ・**応募用紙**（様式 ※公式WEBよりダウンロード可 <https://www.artscenter-akita.jp/archives/1493>）
- ・**企画書**（様式自由 ※A4用紙3枚以内）
- ・**予算書**（様式自由）
- 上記の書類をメールもしくは郵送にて下記のお問い合わせ先までお送りください。

持参する場合は、NPO法人アーツセンターあきたへ直接お持ちください。

○2019年1月31日（木）18:00まで（郵送の場合は、当日消印有効）

【審査について】

<審査員／アドバイザー>

[審査員長] 服部浩之（インディペンデント・キュレーター、秋田公立美術大学准教授）

岩井成昭（美術家、秋田公立美術大学教授）

瀬沼健太郎（ガラス工芸家、秋田公立美術大学准教授）

石山友美（映画監督、秋田公立美術大学助教）

内田聖良（インスタレーション・パフォーマンス作家、秋田公立美術大学助手）

<審査基準>

- テーマ性 テーマの着眼点や動機付けが、これまでにない発想や探究心をそそるものになっているか
- チャレンジ性 実験的で且つ研究的要素が含まれているか
- 場所性 BIYONG POINT の立地やコンセプトに沿った視点でテーマ設定がされているか
- 地域性 秋田で実施する展覧会を意識した内容になっているか
- 展開の可能性 展覧会企画にとどまらず、今後の展開や拡がり、継続性が期待できるか

<採用について>

- 1～2件を採用

※審査を行った上で、採用なしの場合もあり。

【支援内容】

- 作品制作費・イベント運営費・運搬費・交通費・広報費等に該当する一部補助費を支給します。
（支給額は提出された予算書に基づき決定）
- 審査員／アドバイザーによる企画実施に向けたアドバイス
- アートセンターあきたによる展覧会実施から撤収までのサポート
- 広報協力（web での情報掲載、プレスリリース作成・配信等）

【スケジュール】

公募締切 2019年1月31日

書類審査結果発表 2月中旬 ※応募者にはメールにて通知

公開プレゼン審査会 3月16日～20日（いずれかの日程で開催）
※審査会の詳細については、HPにて公開予定

結果発表 3月末 ※公式WEBにて公開予定

【留意事項】

- ・ 本公募で応募のあった提案内容を、採用の有無に関わらず、WEB等で公開する場合があります。
(公開の際は事前確認いたします。)
- ・ 展覧会開催の際のクレジットは、主催：秋田公立美術大学・NPO 法人アーツセンターあきた、協力：CNA 秋田ケーブルテレビ、企画：企画者・団体とします。(他の助成や協賛の併用も可)
- ・ 展覧会の記録(写真・映像・音声記録等)は、秋田公立美術大学及びアーツセンターあきたが広報のために使用することがあります。
- ・ ギャラリーの監視員は常駐しません。併設する秋田ケーブルテレビのスタッフが開場と閉場を行います。

【お問い合わせ・書類送付先】

NPO 法人アーツセンターあきた (担当：岩根・石山)

※平日 9:00~18:00 / 土日祝及び年末年始(12/27~1/3)は休業日となります。

〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3 秋田公立美術大学アトリエももさだ内

TEL : 018-888-8137 FAX : 018-888-8147

E-mail : info@artscenter-akita.jp

WEB : <https://www.artscenter-akita.jp>

<秋田公立美術大学ギャラリーBIYONG POINT（ビヨンポイント）について>

本ギャラリーは、CNA 秋田ケーブルテレビと秋田公立美術大学が協働で運営するホワイトキューブギャラリーです。秋田ケーブルテレビ社屋内のロビーに併設する形で 2014 年に設置され、オープン以来、秋田公立美術大学の研究・教育成果を県内外に向けて発信する拠点として、教員・助手や、招聘作家による個展を開催してきました。2018 年からは、ギャラリー運営を同大学の社会連携を担う NPO 法人アーツセンターあきたが担当し、新たに実験的な展覧会やプロジェクトの企画を進めるとともに、秋田の方々がより芸術に親しむ機会としてエデュケーション・プログラムを実践します。



1. 「現代芸術」の発信と共有

秋田公立美術大学の持つリソースを活用・公開し、展示・パフォーマンス等の表現にとらわれない現代芸術を、秋田の地から県内外に発信し共有します。

2. 「複合芸術 (Transdisciplinary)」の実践

工芸と美術などの既存の枠組みを跨ぎ、新たな芸術領域の創造を試みる実験的なプロジェクトに取り組みます。

3. 人材育成の「プラットフォーム」

制作者に限らず、マネジメント、鑑賞者など、芸術に関わる全ての人の知見を広げるプログラム作りを行います。展覧会が作られるプロセスを透明化、公開するとともに、キュレーション、インストール、ディスプレイ、広報を担うチームを編成することで、作品制作と表裏一体であるマネジメント力を育成・強化します。

また、エデュケーション・プログラムを企画・実施し、鑑賞者と制作者の相互理解を深めます。

BIYONG POINT は、これらの取り組みを実践し、批評を重ねることで、「新しい芸術領域の創造に挑戦する」秋田公立美術大学のギャラリーとして、芸術のもつ可能性と公共性を探求します。



▲ 外観



▲ 展示風景

(大関智子個展「山なみと恐れのみこうに」より)



▲ 会議室でのワークショップ実施の様子

<ギャラリー使用にあたっての注意事項>

【利用時間】

- ・ 9:00～18:00（株式会社秋田ケーブルテレビ（※以下 CNA）の営業時間） ※時間外利用は要相談。
- ・ 駐車場に関しては、CNA の駐車場が終日利用可能。
 ※ イベント等で、集中的な駐車場利用がある場合は事前に要相談。

【設営・撤収】

- ・ 作品等の搬入出は裏口よりおこなう。※裏口からの搬入出が難しい場合は要相談。
- ・ 壁・天井へのビス打ちは可。但し、撤収時に原状復帰をおこなう事が条件。
 ※電源ケーブルの配線が通っている箇所あり。50mm 以上の長さのビスは事前に設置位置を確認。

【ギャラリー運営体制】

- ・ 監視員の常駐はなし。併設する秋田ケーブルテレビのスタッフが開場と閉場を行います。
- ・ CNA の受付スタッフに日々のメンテナンスを依頼する事は可。（例：モニターの ON OFF 等）

【所在地】

〒010-0976 秋田市八橋南 1 丁目 1-3 CNA 秋田ケーブルテレビ内

<ギャラリー図面>

